

2019 年度第 1 四半期決算説明 ネットカンファレンス質疑応答要旨

| | |
|------|---------------------------------------|
| 日時 | 2019 年 8 月 1 日 16:30～17:30 |
| 説明者 | コーポレートコミュニケーション部 IR グループリーダー 小池 太郎 |
| 説明資料 | 2019 年度第 1 四半期決算の概要 及び 2019 年度業績予想の概要 |

Q&A

■ モビリティセグメント

Q1. モビリティの事業動向について説明してほしい。

A1. グローバルでの自動車生産は、中国、インドを中心に減速しており、19 年 1Q のエラストマーや機能性コンパウンドの販売は減少しましたが、海外 PP コンパウンドは、日系顧客向けを中心に販売を維持しました。ICT 関連では、スマートフォンの減速はあったものの、アペルは、スマートフォン 1 台当たりのカメラ搭載個数増加の流れにより販売が堅調に推移しました。19 年 2Q にかけては各製品の拡販を計画しています。

Q2. 19 年 1Q のモビリティセグメントの営業利益について、原料価格が前年同期比で下落する中で交易条件が悪化した理由は何か。

A2. 一部製品において、原料価格変動と販売価格改定の期ずれが生じたことによるものです。

■ ヘルスケアセグメント

Q3. ヘルスケアセグメントの事業動向について説明してほしい。

A3. メガネレンズモノマーについては、19 年 1Q の販売は堅調に推移しました。業績見通し上、2Q は一定の調整を見込んでいるものの、トレンドに大きな変化は無いと見ています。不織布については、紙おむつの中国向け輸出の減少が 19 年度に入っても継続しており、不織布の販売も低調に推移しています。現在、中国の紙おむつの流通在庫は解消段階と見ており、2Q にかけては不織布の販売回復を計画しています。なお、18 年下期に新設した 2 ラインは両方とも稼働しており、18 年 1Q 比では償却費負担増となっています。歯科材料は、19 年 1Q の販売は堅調に推移し、前年同期比で販売増となりました。2Q は不需要期にあたるため 1Q 比では販売の減少を見込んでいますが、前年同期比では堅調に推移すると見ています。

Q4. ヘルスケアセグメントの営業利益が 19 年 1Q (4-6 月)から 2Q (7-9 月)にかけて減益となる要因は何か。

A4. メガネレンズモノマーにおいて、一定の販売調整を織り込んでいるほか、定修の影響が生じることによるものです。

■ フード&パッケージングセグメント

Q5. 農薬及びイクロスの販売動向について説明してほしい。

A5. 農薬は市場環境に大きな変化はないものの、19 年 1Q の販売は一部 18 年 4Q へのずれ込みがあったことにより、前年比で減少しました。2Q 以降については概ね計画線で推移すると見込んでいます。イクロスは半導体の減速を受けて 18 年 4Q に販売が落ち込みましたが、19 年 1Q にかけて販売は増加し、前年同期を上回る水準となりました。2Q 以降についても一定の販売増加を見込んでいます。

■ 基盤素材セグメント

Q6. 基盤素材セグメントの営業利益について、18 年 4Q (1-3 月)から 19 年 1Q (4-6 月)、及び 2Q (7-9 月)にかけての動きについて説明してほしい。

A6. 18 年 4Q から 19 年 1Q にかけては、オレフィン及びフェノールの市況悪化や市原工場のクラッカーのトラブルが減益要因となる一方、18 年 4Q に大幅下落したナフサ価格が 19 年 1Q では上昇に転じたことにより、在庫評価差のプラスが販売価格期ずれのマイナス影響を上回ったほか、固定費の減少等により増益となっています。19 年 1Q から 2Q にかけては、1Q に発生した市原工場のクラッカーのトラブル影響の減少、及びフェノール市況の改善等を増益要因として

織込む一方、ナフサ価格が再び下落する見込みであることから、在庫評価差・販売価格期ずれ影響がマイナス要因となるほか、市原工場の定修影響等により減益を見込んでいます。

Q7. 基盤素材セグメントの営業利益について、前年同期比の交易条件悪化の要因について説明してほしい。

A7. 米中貿易摩擦等による需要の鈍化、及び北米を中心としたクラッカー新設による需給軟化に伴いオレフィン市況が悪化したほか、中国江蘇省での爆発事故による環境監査強化に伴う需要停滞等により、フェノール系製品群の市況が下落したことが主な要因となっています。

Q8. 在庫評価差と販売価格期ずれ影響、及びトラブルの影響はどの程度か。

A8. 在庫評価差と販売価格期ずれ影響については、18年4Qから19年1Q、及び2Qにかけての基盤素材の営業利益増減要因の大半を占めており、その他についてはトラブル影響も含め、増益/減益要因が概ね相殺しあう形となっています。トラブル影響は1Qで▲10億円弱の影響が生じています。

Q9. 国内ポリオレフィンの動向について説明してほしい。

A9. 国内ポリオレフィンの需要に大きな変化は無く、販売も安定的に推移しています。

Q10. フェノール及びBPAの市況動向について説明してほしい。

A10. フェノールについては、19年1Qは全体の供給能力に変化はないものの、中国江蘇省での爆発事故に伴う環境監査強化の影響により需要は低調に推移し、市況が下落しました。2Q以降は環境監査の影響はなお残るものの、監査は順次終了していくと想定され、またフェノールメーカーの稼働調整による需給改善等により、今回の業績見通しにおいては一定の市況回復を織り込んでいます。BPAについても、フェノールと同様中国爆発事故の影響により需要が停滞したほか、アジアでのポリカーボネート減産に伴い韓国・台湾製BPAが中国へ流入したことにより市況が下落しました。2Q以降は、フェノール稼働調整に伴うBPA供給減等による市況改善を織り込んでいます。

Q11. 今後さらにTDI市況が悪化した場合も営業利益に影響は無いか。

A11. ウレタンは持分比率50%のJVのため持分法投資損益に影響が生じますが、営業利益への影響はありません。

Q12. 主要製品の設備稼働状況はどうか。

A12. クラッカーやポリオレフィンの稼働率は、トラブルや定修影響を除き高水準で推移しており、フェノールもこれら影響を除きフル稼働となっています。

Q13. 大阪製油所停止の影響はあるか。

A13. 特段大きな影響は無いと見込んでいます。

Q14. 下関三井化学において、過去10年間で50件超の漏洩を申告しておらず行政処分を下されたが、この背景は何か。また業績への影響はあるか。

A14. 法令違反に至った経緯としては、未届けであった高圧ガスの漏洩事故52件は全て少量の漏洩であったため、届出の必要は無いと独自に判断してしまったことによります。法律の理解度の低さや認識の甘さがあり、また設備の健全性検査のあり方や連絡体制にも問題があったと考えています。今後は漏洩事故を起こした箇所の再発防止のための機械的な対策や手順の適正化はもちろん、深層原因の究明まで実施し、二度とこういった事態が起こらないよう、三井化学グループ一体となって対策を施していきます。業績への影響については現在精査中です。

Q15. 下関三井化学の該当製品の生産は継続しているか。売上規模はどの程度か。

A15. 現時点では生産を停止しています。売上規模はそれほど大きくはありません。

■ 全社

Q16. 市原工場のクラッカーのトラブル及び定修影響はどの程度か。

A16. トラブル影響については、1Q では営業利益で▲10 億円弱、営業外損益も含めたトータルでは▲20 億円程度の影響が生じており、年間ではもう少し影響額が大きくなると見えています。定修影響については 2Q に▲20~30 億円程度の影響を見込んでいます。

Q17. 上期の持分法投資損益見通しを前回発表値から▲10 億円下方修正した理由、及び 19 年 1Q から 2Q にかけて減益を見込んでいる理由は何か。

A17. 前回発表値から下方修正した理由としては、ウレタンおよびフェノールの市況悪化を織り込んでいます。1Q から 2Q にかけては、ウレタンや他の関係会社の定修影響等により減益を見込んでいます。

Q18. 前回発表から上期の営業外損益見込を下方修正しており、持分法投資損益、為替差損益、金融収支を除く「その他」で▲24 億円の減益となっているが、内訳は何か。また税前利益を▲80 億円下方修正しているのに対し、純利益も同額の▲80 億円減額となる理由は何か。

A18. 営業外損益の「その他」は市原クラッカーのトラブル影響で▲10 億円強の他、諸々の案件と合わせて▲24 億円となっています。純利益については、税前利益は三井化学グループ全体で減額となったものの、グループ内の税率の異なる会社の利益構成差等により、法人税等の金額は前回と同水準に留まったため、税前利益と同額の方で修正幅となっています。

Q19. 19 年 1Q の営業 CF が営業利益と比較して低水準である理由は何か。また営業利益は 1Q から 2Q にかけて減益を見込んでいる一方、営業 CF が大きく改善する理由は何か。

A19. 1Q については、運転資金が悪化方向であったほか、法人税等の支払いもあり、営業 CF が低水準になっています。1Q から 2Q にかけては、定修による在庫の払出や原燃料価格の下落など、運転資金の改善等による CF の改善を見込んでいます。

以上